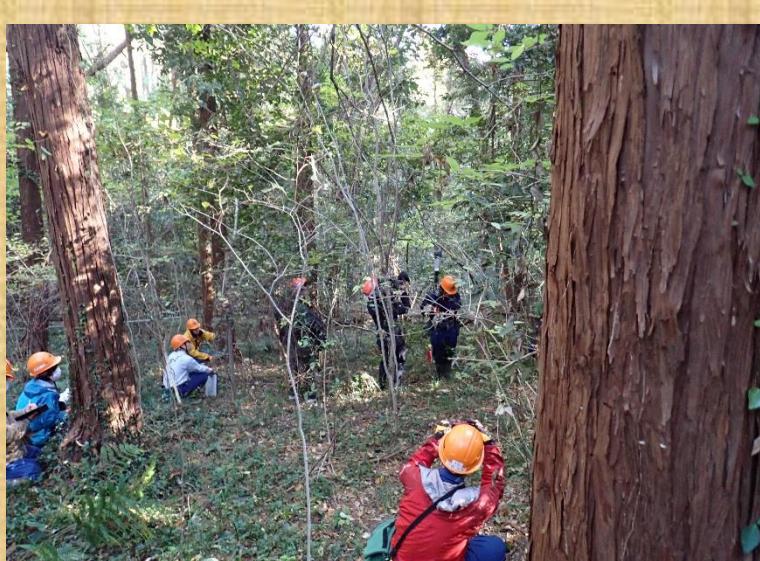


地上型3Dレーザ講習会を開催

(スペシャリスト育成プログラム)

高崎市長坂国有林 (群馬森林管理署管内)

令和7年11月20日～21日、資源活用課及び技術普及課共同で、高崎市長坂国有林のヒノキ人工林で地上型3Dレーザを使用して立木調査を行い、パソコンにデータを取り込み、下層植生の繁茂状況が計測に与える影響について分析を行いました。森林管理署等職員計18名が参加し、熱心に実技及び演習を行っていました。(NHK群馬放送局の取材がありました)



ドローンによる飛行デモ-森林解析検討会

佐白山試験地（高齢級人工林調査地：ヒノキ200年生）

令和7年10月21日、空中写真からAIで樹種判別できる技術を世界で初めて開発したDeepForest Technologies（株）と協働で、茨城県笠間市のヒノキ人工林を、2種類のドローンを使って撮影した画像等から森林解析を行いました。林業事業体、自治体職員等計34名が参加し、活発な質疑応答・意見交換が行われました。



セントラル・フィリピン公立大学

から現地視察（筑波山試験地：複層林、モザイク林）

令和7年10月25日、フィリピン共和国のセントラル・フィリピン公立大学森林農学部林学科教授ほか計5名と(国研)国際農林水産業研究センター主任研究員1名が、筑波山試験地視察に来られたので、説明案内を行い、OWL操作体験・解析実演も行いました。複数の視察者からモザイク林をして、"It's perfectly sustainable forest management."とありました。



郡山市の2財産区から現地視察 筑波山試験地（複層林・長期育成循環施業 (モザイク林)）

令和7年6月20日（金）福島県郡山市の多田野財産区、河内財産区から管理委員12名及び事務局2名が、森林等における造林並びに保育に係る知識向上を図るため、当センターの森林・林業技術見学プログラムによる研修視察に来られたので、説明案内を行いました。



小手森財産区がセンター来所 (エリートツリー等、コウヨウザン、林野庁統一課題)

令和7年6月25日（水）福島県二本松市の小手森財産区から管理委員7名及び事務局1名が、当センターに来所しました。旧小松沢試験地を現地視察する予定でしたが、大雨のため、資料による説明を行いました。



高校生を試験地案内しました。 (大沢試験地、御前山試験地、次代検定林)

令和7年5月11日（日）神奈川県の高校生を案内しました。「林業と森林保全の両立」「持続可能な森林づくり」「広葉樹人工林の施業」「複層林や長伐期施業」等に興味があるとのことで、遠方からの日帰りで要望に沿う3試験地等の案内と、併せて収穫調査体験を実施しました。実際に現地を見学し、知識を深めることができただけでなく、今後さらに林業について学びを深めていきたいという気持ちが強まったとのことでした。

